

愚直経営通信

皆様の周りにこの通信が役立ちそうな方がいらっしゃればご紹介頂ければ幸いです。

2020年1月

今年のテーマ「鍛錬とコラボレーション」

鍛錬とコラボ

2020年のテーマは「鍛錬とコラボレーション」とし、一年間を過ごして行きたいと思います。なぜ鍛錬かと言うと、一昨年と昨年は仕事でアウトプットする放電的な時間の過ごし方が多く、充電があまりできていないと言う反省があります。昨年は飛行機のフライトも国内外合算で41回を数え、人生でこんなに飛行機に乗ったことはありません。充電はこれから10年をどう過ごすかに関わる大きな問題だと考えています。

まずは体を鍛え直すことからです。10年前のマラソン熱も冷めてゴルフ主体に移行しましたが、運動不足が否めません。週2回はジムで足腰を鍛え、体を絞りたいと思います。また、読書の時間を増やして内部充実を図りたいと思います。ビジネスの話というより教養を深めるために、従来からの中国古典の勉強に加えて、日本文化を学ぶ時間を増やしたいと思っています。

もう一つのテーマのコラボレーションは、個人プレーになりがちな癖を是正し、専門分野の違う人と何か今までにないアプローチを取り入れて行きたいと思います。例えば、AIを如何に活用するか、AIの活用で人間がより人間らしく働くかを模索して行きたいと考えています。また、海外の方とも何かできないかも模索して行きたいと思います。まだ具体的な内容が固まった訳ではありませんが、アンテナを立てて情報や機会への感度を高めることから始めたいと思います。

今年は内面の充実を図り、求心力と遠心力を共にレベルアップして行きたいと考えています。

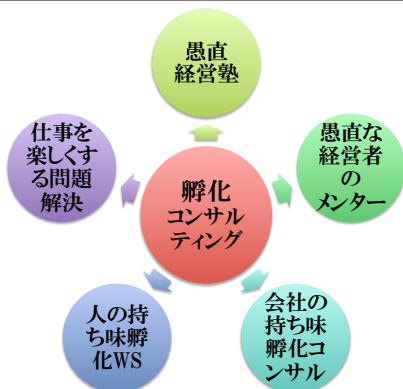
目次

1. 鍛錬とコラボ
2. 昨年の活動まとめ
3. 日本伝統の自己鍛錬方法
4. メンターとしての中国古典
5. BIG ISLAND の旅

【 ミッション 】

愚直な経営者と夢と悩みを共有し、
会社と人の持ち味を孵化させる。

発行人 三村邦久



昨年の活動の振り返り

昨年の活動を振り返り、私の活動領域の確認、代表的な活動をまとめてみました。

■ 孵化コンサルティング ■

① 経営者コーチング

② 企業文化の変革・人事制度の再構築

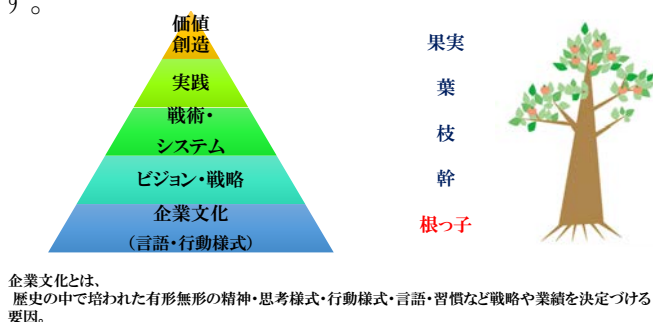
③ 持ち味ワークショップ

④ 能力と人間力を磨く研修

⑤ 事業創造支援

■ 組織文化の変革・人事制度改革

組織文化とは、会社や部門の思考や行動の様式（パターン）であり、組織の行動を支配します。自責か他責か、内向きか外向きか、積極的か受け身か、独創的か他者追従か、チャレンジングか保守的か、など組織固有の空気があります。戦略やシステムが良くても文化が悪いと成果が生まれません。まず、どのようなパターンがあるかを認識し、大切にすべきパターン、捨てるべきパターン、新たに導入すべきパターンを明確にします。そして、今後大切にすべきパターンを如何に実践するか、一人ひとりにコミットして頂くなど、地道な作業を忍耐強く取り組みます。人事制度と連動して、組織に良い思考と行動のパターンを仕組み化し定着させて行きます。



ミーム(me-me)とは、ミームとは心の中の情報単位であり、民族や企業の文化を伝達する自己複製子(心の遺伝子)である。ウィルスのように感染し複製が他の心の中にも作られ、さまざまな出来事に影響を及ぼしてゆく。

■ 持ち味ワークショップ

個人の持ち味を最大限に発揮させ、自信と誇りをもって働くことができるよう背中を押すことを目的に行っています。自分の武器となる持ち味を発見することで、モチベーションを刺激し、仲間から見た「持ち味と可能性」のフィードバックをすること(承認)によって、本人の可能性に気づかせ、自己肯

定感、自己効力感を高めていきます。そして、持ち味を磨く習慣化を図り、持続的な成長、より良いキャリア形成、より良い人生の後押しをしたいと考えて取り組んでいます。



持ち味ワークショップ・プログラム

(3時間×2回)

第1部 ～ 自分と仲間の持ち味を見つける ～			
:00	60分	1. 持ち味を活かした豊かな働き方	・モチベーションとは ・AI時代の働き方とは ・豊かな人生とは仕事 ・【演習】仕事のどこに、楽しさ・喜びを感じるか？
:00	30分	2. 持ち味の理解	・持ち味とは？ ・持ち味は楽しさの原動力 ・持ち味発揮のフレームワークとプロセス ・持ち味の価値 ・持ち味は「証」である
:30	90分	3. 「持ち味の意」ワークで自己理解と他者理解を深める	・【演習】「持ち味の意」ワークショップ(アドバンス編) ・仲間の意見を聞く ・【演習】「持ち味の意」ワークショップ後の振り返り
:00		終了	
第2部 ～ 持ち味を活かし自分の可能性を探る ～			
:00	60分	4. 持ち味から将来の可能性を探る	・【演習】こんな「持ち味」をもった人はどんなことができるか？ ・【演習】持ち味発揮3年後の姿を伝える
:00	60分	5. 持ち味を活かした成長ストーリー作り	・【演習】持ち味を活かした成長ストーリーの策定 ・【演習】成長ストーリーの発表
:00	60分	6. 持ち味を磨く習慣づけ	・習慣とは何か？ ・習慣化のコツ ・【演習】持ち味を磨く習慣化目標の設定 ・変化・成長の確認 ・【演習】振り返り確認・点検(相互インタビュー)
:00		終了	

Copyright © by Delight Consulting Co.,Ltd. and i-partner Co.,Ltd. 2019.

■ 能力と人間力を磨く研修

▶ 幹部管理者向け事業戦略構築研修(2日)

事業のコンセプト確認、SWOT 分析から会社の持ち味を活かす戦略テーマを作り、具体化のロジックツリーを作って行きます。単なる考え方の学びに止まらず、曲がりなりにも自分たちの意思の入ったアウトプットを作り上げて頂きます。

▶ 若手向けロジカルシンキング研修(1.5日)

言葉の定義づけ、因果関係、帰納法・演繹法、PREP 法などビジネスマンとしての基礎能力を鍛えます。

▶ 新任管理監督者研修(2日)

リーダーとは周りの人を幸福にする人、コミュニケーションのコツ、自己分析と課題設定、問題解決力を鍛えるなど、能力と人間性を磨いていきます。

▶ OJT 担当者研修と新人研修(1日+1日)

持ち味カード、承認カード、マナーカードを使ったワークショップ型の研修で、互いに認め合う豊かな働き方・楽しい働き方をインストールします。

日本伝統の鍛錬方法

3つの自己鍛錬方法

2020 年のテーマである自己鍛錬、かつて学んだ日本の伝統的な鍛錬の方法をご紹介します。

1)「慎独」

「君子は必ずその其の独りを慎む也。小人は閑居にして不善を為す。」これは大学の一節で、「立派で徳のある人は、一人の時であっても心を正しく持って言動を慎む。一方、徳のない者は一人でいると良くないこと・不正を行う」という意味です。「徳のない人は、自分の悪い行いを隠して良いところを見せようと虚勢を張ります。しかし、他人からは心の奥底まで見抜かれてしまい、いくら自分の悪い行いを隠そうとしてもすべてわかってしまう。心の中が誠実であれば、それは必ず形となって外に現れる。よって徳のある人は、一人きりの時でも心を正しく持って良心に反することをしないように慎むのだ。」

2)「立腰」

立腰とは、腰骨をいつも立てて背筋を伸ばし胸を張る姿勢を作ることです。これには、以下の効果があります。

- ・気持ちがスッキリし、邪な心がなくなる
- ・姿勢が良くなり目線が上がり視野が広がる
- ・猫背による背中中の張りが減り、疲労や肩こり腰痛が少なくなる
- ・内臓の圧迫が解放され、体内(丹田)からエネルギーが湧いてくる
- ・心身の状態が良くなり、何事にも前向きで積極的になれる

一方、猫背だと肺や内臓を圧迫し消化が悪くなり、肺を圧迫すれば空気が全身にいきわたりません。体はだるく脳に酸素がいなくなり、ぼーっとしてしまいます。

3)「克己」

克己とはセルフコントロールのことです。つまり、理性

(感情や本能に支配されず、道理に基づいて思考し判断する能力)、我慢(感情的な辛さや生理的欲求などを受け止めて耐えること)を指します。

例えば、小腹が空いて間食を食べたいが我慢する。欲しい物があるが、衝動買いせずもう1週間じっくり考えてみる。人に怒りを覚えても、深呼吸して気持ちを落ち着けるなどテーマは山ほどあります。

これはとても大切なことで、自分をコントロールできない人が、人を導いたりコントロールすることなどできないでしょう。

習慣化してこそ

古代ギリシャの哲学者アリストテレスは、「自らが繰り返すことこそが、われわれの本質である。ゆえに、優秀さとは行為ではなく習慣である。」と言いました。習慣とは無意識で繰り返していることであり、習慣の良し悪しが人生の質を決めると言っても良いのではないのでしょうか。

自分を研鑽するということは、継続してこそ価値があり、効果が生まれます。

では如何に習慣化するか、私なりに研究し、以下のような心の持ち方のコツがあるのではないかという結論に至りました。ご参考まで。



「大人とは赤子の心を失はざる者なり」

メンターとしての
中国古典

4月より始めましたブログ「メンターとしての中国古典」これまで13回の投稿を行いました。そこから抜粋して2つご紹介したいと思います。

大人とは、赤子の心を失はざる者なり

2019.07.06

これは孟子の一節で、「**立派な聖人はいつまでの子供の心(童心)を失わないものである**」という意味です。孔子の説いた「論語」や「孟子」などの儒教は、規律を重んじる堅苦しいイメージがあるかもしれませんが、人が持って生まれた子供の心を大切にしているところを見逃してはいけません。

赤子の心とは

①遊び心と好奇心

子供の心の代表は、何と言っても「遊び心と好奇心」ではないでしょうか。子供は遊びの天才です。公園にいる子供の様子を見ていると、砂遊びや鬼ごっこ、ボール投げなど、初対面の子供とでもすぐに親しくなり楽しげに過ごしています。また、小さな子供は字が読めませんので、絵本を持ってきて「これ読んで！」といいます。一冊終わると「次はこれ！」とエンドレスです。物語に強い興味を抱きます。子供の活力や目覚ましい成長の原動力は、遊び心と好奇心であると言えるでしょう。



②挑戦する心

子供の心には遊び心・好奇心から発展した「挑戦する心」が挙げられます。人は生まれた時は、寝たまままで自ら動けません。しかし、寝返りを打つようになり、ハイハイするようになり、最後は自分の足で立つようになります。その過程は挑戦と失敗の連続、頭を打ったり、段差を落ちたり、転んで膝や顔を地面に強く打ち付けて痛い思いをします。しかし子供は諦めません。走るようになって転ぶと、膝を擦りむいて血を流します。大人になっても膝に残る怪我の跡は挑戦し成長した証と言えるでしょう。**挑戦し失敗から学び教訓を得て成長するのも子供の心でしょう。**

③素直な心

子供の心は「素直な心」があります。社会に染まらず白紙ですので、スポンジのように何でも吸収します。小さい子供は良い悪いの判断基準もありませんから、すべてを受け入れます。自分の周囲にいる人の言動を真似ます。親が本を読む習慣があると、子供にもその良い習慣が身につきます。親が「面倒臭い！ 面倒臭い！」が口癖になっていると、子供にも悪い口癖が伝染します。

子供は大人のように忖度なく、素直に気持ちを表します。**代表格は「何で？」の質問**ではないでしょうか。例えば、「黙ってなさい！」と親がいうと「何で？」、「チョコレートは食べたらダメ！」という「何で？」、「もう寝なさい！」という「何で？」。親とすればイラッとする返答が返ってきます。自分は話したいことがあるのに、チョコレートは美味しいのに、まだ眠くないのに、「なぜ？」となります。子供に忖度はなく、素直に思ったことを口に納得するまで問い続けます。

④夢を持つ心

多くの子供には「夢」があります。パン屋さんになりたい、学校の先生になりたい、プロテニス選手になりたい、お医者さんになりたいなど、無邪気に夢を口にします。イチロー選手は、小学校の卒業文集に「目標はプロ野球選手、契約金1億円」とプロになる根拠やシナリオとともに記しています。サッカーの本田選手は「セリエAでプレーする」と書いたようです。

私は子供の頃は夢はありませんでしたが、中学生のころ経営コンサルタントという仕事があることを知り、漠然とですがそんな仕事を出来れば良いなと思った記憶があります。夢は必ず実現するとは限りませんが、人生を切り拓く大切な羅針盤になるのではないでしょう。

⑤無分別な心

子供は社会常識がわかっていないので、分別がないつまり「無分別」ということになります。無分別とは、一般的には社会の常識がわからず、周りへの思慮がなく軽率であることを指します。しかし禅仏教では、物事を区別して考えないことを指します。行き過ぎた分別は分別臭さになり、既成概念や立場に固執し柔軟性を阻害します。老化現象とも言えます。

オトナの心とは

ここで、「大人」と書かずに「オトナ」と書いたのには意味があります。中国古典で「大人」は立派な人格者を指しますので、普通の成人した人ということで、「オトナ」と記します。現代のオトナは、残念ながら以下の傾向が顕著ではないでしょうか。

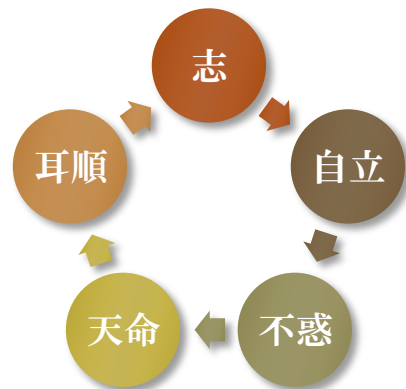
- ・ 好奇心が衰え現状維持、遊び心がなく笑顔がない
- ・ 現実の世界に飲み込まれ、近視眼的で夢も希望もない
- ・ 分別臭く、何事にも批判的排他的で受容性がない

本当の「大人の心」とは

論語にあるこの有名な一節がその答えを示していると思います。

「吾 十有五にして学に志し 三十にして立ち 四十にして惑わず 五十にして天命を知る 六十にして耳順(したが)い 七十にして心の欲する所に従いて矩(のり)を踰(こ)えず」。

その意味は、「私(孔子)は15歳のときに学問を志し始めた。30歳になったときに独り立ちをし、40歳になったときには惑わされることがなくなった。50歳のときに自分の天命を理解し、60歳のときによく人の意見に素直に耳を傾けられるようになった。そして70歳になって、自分の思うように行動をしても人の道はずすことはなくなった。」



現役世代にとって重要なキーワードは、「学志・自立・不惑・天命・耳順」ではないでしょうか。

- ①**志を持って学ぶ:自分のビジョンを描き、一生学び成長し続ける**
- ②**自立:能力と人間性を磨き、自分の意志を持ち自分の足で立って生きる**
- ③**不惑:金・権力・世間体や目先の損得などに翻弄されず、自分の道を歩む**
- ④**天命:目の前の仕事を天命・天職と思い、それに最善を尽くす**
- ⑤**耳順:世の中の変化、若い人の意見、自分への批判も素直に受け入れる**

こんな「子供の心」と「大人の心」を持ったバランスの良い人間を目指して行きたいものです。

「為さなり、能わざるにあらざるなり」

「為さざるなり、能わざるにあらざるなり」

2019. 11. 11

これは孟子の一節で、頭に一撃を食われる言葉です。

その意味は、「**できないのではない。やらないのである**」ということです。



もう少し解説すると、「王道、徳（国民や社員への思いやりや慈しみ）を基本としたマネジメント（政治）をする」ということは、身近な日常の中にあり、それはできることであり、できていないとすれば、やっていないだけだ」というのが孟子の主張です。現実的な問題としては、さまざまな利害の衝突や問題があり、思いやりや優しさだけでマネジメントができるわけではありません。ただ、思いやりの精神を基本に据え日々過ごすことは、できないわけではないだろうと思います。

（参考：「**王道**」に対し「**霸道**」は、徳ではなく権力や武力・財力で強制的に組織を支配し、覇権を拡大していこうという考え方で、国民や社員は覇権を拡大するための道具に過ぎないということになります。太平洋戦争時の国家のあり方は霸道の政治と言えるでしょう。）

我々はできない理由を考える天才か

徳を積むこと以外のことに私たちの日常には、「為さざるなり、能わざるにあらざるなり」（不為也、非不能也）が当てはまるが多々あります。仕事でも勉強でも思うようにできない時、できることを考え行動に移すより、できない理由を考え、自分を正当化することをしてしまいます。

例えば、自分に対しては、実力がない、才能がない、経験がない、お金がない、時間がない、運がないなど。周囲に対しては、育った環境が悪い、上司の支援がない、仲間の協

力がない、会社が悪い、景気が悪い、社会が悪い、政治が悪い、今の時代が悪い、などできないなど理由を挙げればきりがありません。

思考停止用語を禁ず！

ではどうすれば良いのか。まず、思考と行動を支配する悪い言葉遣いを変えることから始めてみてはどうでしょうか。

職場でよく使う 5 つの言葉を思考停止用語を位置付け、使わないようにしましょう。

①まず、「**忙しい**」。この文字は心を亡くすと書きます。これは病気です。この言葉を使うときには、自分がこんなに頑張っているのにうまくいかないのは

誰々のせいに違いない。そんな被害者意識と自己防衛意識が働いていると思います。

②次は「**無理**」。何でもできるとは言いません。運動神経の良くない 58 歳の私が、今からオリンピックに出場することは不可能だと思います。しかし、できる可能性のあるものでも、前に立ちただかる困難を想像して無理と決めつけます。無理と言い切ると楽になります。しかし、これでは前に進みません。

③「**時間がない**」。忙しいと同様にこれもよく口にする言葉です。では一日に何時間あればいいのでしょうか。不公平や不平等の多いこの世の中で、唯一公平なのは誰でも一日は 24 時間ということです。余裕でたくさん稼いでいる人も、長時間労働でもあまり稼いでいない人も皆同じく一日 24 時間です。つまり時間がないのではなく、時間の使い方が悪いと考えるべきではないでしょうか。



④**「面倒臭い」**。こう思うことは多々あります。職場での「報連相」などは典型ではないでしょうか。しかし、ここの手を抜くと仕事はうまくいきません。この言葉を繰り返していると、何でも面倒臭くなり、鈍な人間になってしまいます。マメさは物事を円滑に進める秘訣ですから。

⑤**「どうせ……」**。どうせ私なんか……、どうせ誰も……してくれない、などといったあきらめと被害者意識を含んだ言葉は、倒産する企業に共通する言葉だそうです。倒産も破産もしたくありませんので。

自己信頼感を高める

さらに行動を起こすには自信が必要です。しかし、「自信が持てない」と悩んでいる人はたくさんいます。自信がないというのは心の問題です。どんなに特別な才能があったとしても、「自分はダメな人間だ」「自分には何もない」と思っていたら、せっかくの才能を発揮することはできません。自信というのは自己信頼感であり、どうすれば自分を信頼できるようになるかということを考えてみる必要があります。

①自分に嘘をつかない

まず、自分との約束を守ることです。約束を破る人のことを誰も信頼しません。他人は当然のこととして、自分に対してもです。自分が一番近い他人ですから。そこで、何か簡単にできそうなことから始め、それをやり切ることです。毎朝決まった時間に起きるとか、すぐに取り組めて達成できそうな目標を立てて実行してみましょう。決めたことを確実に実行すること(自分に嘘をつかないこと)で、自分を信頼できるようになります。

②心技体を高める努力

一流のスポーツ選手は大会前に、「自分を信じて頑張ります！」という言葉の口にしします。結果はやってみないとわかりません。しかし、目標を定め、しっかり練習をして心技体を磨いたという努力が自信を生むのです。

③持ち味を活かす

好きで楽しくやる、結果を気にせず目の前のことに没頭することが良い結果をもたらす秘訣です。つまり、自分の得意や強み持ち味を、どのフィールドでどう活かすか。胸を張って力を発揮できる場所を見つけることが肝要です。それが見れば、自他ともに認める胸を張ったプロフェッショナルになるでしょう。

④信念と使命感

信念の「信」は何を信じるかということです。徳を基本としたマネジメントを行うことは、人として正しいこととであり、間違ったことはしていないという正当性が自信になります。

どういう価値観や考え方をもっているのかということで、それは社会性を帯びた使命感にもつながるでしょう。

⑤志と応援団

志や理想を掲げれば共感者が増え、同じような感性を持ち合わせた応援団が集まってきます。論語にも、「朋あり遠方より来たる、また楽しからずや」とあるように、心が通い合った頼りになる仲間と何かをすることは楽しいばかりでなく、大きな自信にもつながります。



以上、5つの方法を組み合わせるとちょっとやそつとでは揺るがない自信が持て、胸を張って堂々と行動に移せるでしょう。そして、周りの人からの信頼感も高まり、いろんなことが良い方向に回っていくのではないのでしょうか。

ブログサイト

<https://www.compass-point.jp/mentor/>

BIG ISLAND (ハワイ島) の旅

火山の島

ハワイ島はハワイ諸島で最大で BIGISLAND と呼ばれています。ハワイ島南部にあるキラウエア火山は有名で、今も噴火を繰り返し、ハワイの島々は北へと動いて、太平洋プレートとして日本まで移動してくるそうです。

今回は 2 度目のハワイ島訪問ですが、最初はオアフ島のホノルルに宿泊し、日帰りで行きましたが、ホノルルの喧騒とは対照的に、広く大きく静かでゆっくりするには最適と思い、成田からコナ空港への直行便で往復しました。



コナマラソン

目的の第一は、コナマラソン大会への参加で、マラソン大会の日程に合わせて6月末にしました。暑い場所なので、10キロの部に参加しましたが、7時スタートで既に 20℃ を越え、ゴール時には 30℃ を越えていたと思います。



マウナラニ(サウスコース)

折角のハワイですから、ゴルフに行きました。少し贅沢をして世界一美しいというゴルフ場に行きました。西には太平洋、東には標高 4205m のマウナケア山を望んでのラウンドでした。

コースはフェアウエーとグリーンの緑、溶岩の黒、海と空の青と3色のコントラストが美しいコースでした。まるで夢の中にいるような気持ちに



なりました。スコアは海にボール3個をプレゼントし、スコアレスという結果でした。

レンタカードライブ

ホテルはコナ空港から車で約30分のワイコロアリゾートという場所でしたが、ハワイ島は交通事情が悪く、ゴルフ場に行くにはレンタカーを借りるしかなく、初めて海外での運転を体験することになりました。おかげで空いた時間を利用してハワイ島北部にドライブすることができ、絶景ポイントにも自力で行くことができました。



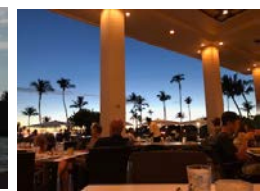
マウナケア山

マラソン、ゴルフに加え、大きなイベントとして、星空鑑賞に行きました。4000m 超の山頂へは、流石に自力では無理、ツアーに入りました。日没写真に続き、星空撮影に挑戦しましたが、掲載できるほどのものは撮れませんでしたので、イメージ写真を掲載します。



最後は、ホテルでマッタリと過ごして、帰路につきました。元々田舎者であるせいか、人の集まる観光地より、人が少なく自然の多い場所の方が快適です。

こんな体験をまたできるよう仕事も頑張らねばなりません。



株式会社アイパートナー

代表取締役 三村邦久 mimura@i-partner.co.jp

会社 HP : <http://www.i-partner.co.jp/>

〒222-0033

横浜市港北区新横浜 2-5-14 WISE NEXT 新横浜 3 階